

HIMEJI 今昔物語

教育におけるいま、むかし・・・

私が、小学校を卒業してから約30年が経過しました。10年ひと昔と言いますので、3昔前ということになります。昨年の8月に豊富小中学校の同窓会を行い、思い出話に花を咲かせました。当時を思い出すと現在と随分と違う点が多くあります。

私の小学校時代は、校舎の鉄筋化が姫路市全域で行われていた時期で、豊富小学校でも木造の校舎から鉄筋校舎へと引っ越しをした記憶があります。今思えば、木造の校舎は、古く、暗かったものの、趣もあり、温かみもあった気がします。

現在、姫路市では、昭和50年代に建設された校舎や屋内運動場の大規模改修や耐震化の工事が進んでおり、平成27年度ですべて完成することとなっています。少子化、人口減少社会のなかで、校舎をどのように長寿命化させるか、あるいは、活用していくかが今後の課題です。

授業の様子も随分変わってきています。当時は、板書が中心で、クラスにテレビが1台あるかないかの時代でした。現在では、各学校にパソコンルームがあり、各クラスに電子黒板も設置されています。また、昨年度からは、他都市に先駆けて、市内の全小中学校にタブレット端末を配備し、ICTを活用したわかりやすい授業を行っています。

一方で、一昨年、昨年と社会現象となったいじめや体罰の問題。一言で語るのには難しく、人間関係の複雑化やネットによるいじめなど時代の流れで新たな課題も出てきています。物質的に豊かになった時代であればこそ、家族間、生徒と先生、さらには地域のなかでの信頼関係の再構築が大きな課題といえそうです。

◎校舎



◎授業風景



〈中学校完全給食開始について〉

姫路市では、平成16年10月から選択制デリバリー方式での中学校給食が実施されていましたが、この度、中学校における完全給食が全生徒に対して行われることになりました。

これは、平成21年に施行された改正学校給食法により学校給食における食育の役割が大きくなったことにより、学校給食を行う場合は、全員に対して行うべきとの方針が示されたことによります。アレルギー食への対応、給食時間の確保、教職員の負担増などの課題はあるものの、今後、それらの課題に対する解決策を探るとともに、早ければ、平成29年秋ごろに中学校の完全給食が始まる予定です。

なお、実施方法は、親子方式で行う学校もあるものの、主に、センター方式で行う予定で、現在、すでに稼働している安富町、夢前町、家島町以外の地域を南北2つのブロックに分け、2つの給食センターが建設される予定です。なお、北エリアは、西中島の市有地にセンターが建設される予定となっています。(南エリアは、未定です。)

個人的には、親子の関係構築のためにも、お昼の弁当には賛成の立場でしたが、時代の流れや食育の推進、栄養面などの点からも学校給食の効果を評価するようになってきました。今後も先述した課題の解決と学校給食の推進を注視していきたいと思えます。

編集後記

私も今年2月で41歳になりました。本厄の年でもあります。健康には自信がりましたが、3月の健康診断では、要チェックの診断も。しっかりした活動をするためにも、健康管理はしっかり行っていないと行けないですね。◆豊富町では、自治会、生涯クラブ、社協などいろんな団体が、健康増進を目標に活動を行っています。老若男女問わず元気に活動できることが地域にとっても大変大切なことですね。◆姫路市でも、がん検診の体制を強化しました。皆様もあらゆる機会を通して、病気のチェックや健康増進に取り組んでください。

HAGI Times

姫路市議会議員萩原ただすけ
[新生ひめじ]市政報告

2014 July.
Vol.13

〒679-2123 姫路市豊富町豊富1669 Tel/Fax:079-264-2805(代) E-mail himeji@t-hagiwara.com

- ご挨拶
- 議会質問について
- 活動報告
- 都市計画の見直しについて
- HIMEJI 今昔物語・・・
- 編集後記

はじめに

平成26年度がスタートして3ヶ月が経過しました。

皆様には、健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。改めて、平素のご指導ご鞭撻に心から感謝申し上げます。皆様から負託をいただき、市議会議員2期目も最終年を迎えました。その間、会派の役員や文教委員長を2回連続で務めさせていただき、議会に送っていただいたときから、教育や子育てを自分のライフワークとしてやっていきたいとの思いがあったため、文教委員長を務めさせていただいたことは大変感慨深いものがあります。(文教関係については後記)

2期目の残された期間は、ライフワークの教育課題はもちろん、地域課題である高齢化問題や市街化調整区域の土地利用、農業振興施策についても積極的に取り組んでいきたいと考えています。

また、この度、初当選以来大変お世話になった会派「創夢会」を退会し、新しい会派「新生ひめじ」にお世話になることになりました。これまで、ご指導をいただいた皆様に深く感謝申し上げるとともに、これからも、決意も新たに積極的に諸課題に取り組んでまいります。

新しい会派は、私も含め期数の浅い議員も多く在籍しますが、しっかりと議論を行い、市民目線での市政運営や議会改革にも取り組んでまいりたいと思っております。会派は、変わりますが、初心を忘れることなく、真剣に一生懸命、議員としての活動に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

平成26年度の姫路市・・・

姫路市では、平成26年度の重点目標として

- ①大河ドラマを生かした観光客の誘致
- ②キャストィ21の推進
- ③広域連携の推進
- ④子ども・子育て支援の充実
- ⑤地域防災力の強化
- ⑥スポーツの振興

の6つの重点目標を掲げ、市政を進めています。

予算規模は、総額で3836億円(対前年度比4.0%増)で、その内訳は、一般会計2111億円(同0.5%減)、特別会計1077億円(同3.3%増)、公営企業会計648億円(同23.4%増)となっています。

大河ドラマ「軍師官兵衛」の効果は。。。

1月に始まった大河ドラマ「軍師官兵衛」。私も、平成24年第3回定例会で質問をし、姫路市の観光への波及効果に期待している一人です。視聴率も回復傾向にあり、観光にもいい影響がでているようです。ただ、「官兵衛効果」を今年だけに終わらせてはいけません。来年3月には、姫路城の竣工記念式典が予定されており、また、2月には記念のマラソン大会もあります。今後にどのように結びつけていくかが課題となります。(主な施設の観光客の数については、右記のとおり。)

〈主な施設の観光客の数〉

ドラマ館	1月	2月	3月	4月	5月	合計
	27,785	33,123	53,184	60,109	58,240	232,441

姫路城	1月	2月	3月	4月	5月	合計
H26	82,544	35,558	52,833	74,859	67,715	313,509
H25	51,116	42,866	71,425	89,284	81,893	336,584
H24	44,557	32,186	54,895	83,172	71,425	286,235

書写ロープウェイ	1月	2月	3月	4月	5月	合計
H26	38,550	16,239	25,003	30,111	46,578	156,481
H25	32,867	16,416	20,544	24,848	31,654	126,329
H24	33,730	13,050	17,312	25,693	30,276	120,061

萩原ただすけの 議会質問について!

前回の市政報告から平成24年第3回定例会、平成25年第3回定例会の2回の一般質問をしました。その中から2つをピックアップして掲載します。

災害に対する対応について

災害に対する対応については、2期目の1年目から毎回一般質問で取り上げています。近年、全国的に地震や風水害が頻発しています。特に、平成23年の東日本大震災と台風23号を始めとする風水害は、これまでの防災体制を大きく見直すきっかけになりました。姫路市は、災害が比較的少ないところだと言われてはいますが、それでも、近年、人的被害はないものの、家屋への浸水を伴う大きな風水害が大変多くなっています。河川整備や改修などのハード面・市民への伝達方法、災害時の高齢者の方への支援体制の強化などソフト両面での対策の強化と具体的な提案を行いました。



対策として新たに設置された水門

その後

危機管理室や下水道局を中心に、相互に連携を図りながら対策が講じられています。

避難所マニュアルの改訂、災害時の情報伝達方法の見直し、津波ハザードマップの見直し、校区の風水害ハザードマップの見直し、災害時要援護者支援台帳の整備と活用、広域防災体制の強化などソフト面での対策が講じられました。

浸水被害が多発している地域の河川等の改修や整備、ゲートの設置、ため池の改修などハード面の対策も順次行われているところです。

ただ、近年の雨の降り方などを考えると、まだ、十分な対策がうたれていないと感じるところもあり、今後さらに具体的な提案も含め、当局に対策を求めていきたいと思えます。

気になる子どもたちへの保育の充実について

ある調査によると、近年、就学前の保育、教育現場で、軽度の発達障害など気になる子どもの数が増えてきていると感じているようです。姫路市では、ルネス花北が中心となって障害をもつ子どもたちへの施策を展開しているところですが、子どもたちにはできるだけ早期にきめ細かく対応できる仕組みが必要だと言われています。そのため、保育園での障害をもつ子どもたちへの対策の強化を求めて質問しました。

その後

平成26年度から保育園において障害をもつ子どもたちへの対策としてこれまでの保育士加配策に加えて、特別な支援を要する児童の保育環境の向上を図るため、保育士の加配・安全配慮対策等の充実を図るとともに、必要な支援を円滑に行うためアドバイザーを保育園に派遣する事業を開始しました。

最近のトピックス!

地方中枢拠点都市構想とは。

最近、新聞紙上にも出てくる言葉ですが、皆さんにとっては耳慣れない言葉で、いったいどんな中身なの?と思われるかもしれません。

地方中枢拠点都市とは、超高齢化・人口減少社会の現代において、ひとつの自治体だけでなく、地方都市が相互に連携を深め、協定を結ぶことで、人々の暮らしを支え、経済をけん引していく役割を果たす都市のことです。姫路市は、地方中枢拠点都市への名乗りをあげ、播磨の中心都市として近隣8市8町と連携を図り、播磨圏域の成長エンジンの役割を果たし、圏域の経済成長と安心して暮らせるまちを目指します。

子ども子育て支援新制度とは。

子ども子育て支援新制度が創設され、平成27年4月から新しいシステムがスタートする予定です。これにより親の就労等に関わりなくすべての子どもたちが等しく幼児教育や保育を受けられる体制が整うこととなります。待機児童の解消だけでなく、子育て相談、親子の集いの場などの増設も行われることとなります。

これは、国や都道府県でなく、市町村が中心となって進める事業で、姫路市の関与する度合がこれまでより大きくなります。市民の皆様や保護者の方には少しわかりにくいところもあるかもしれませんが、今後、広報ひめじなどを通して説明される予定となっています。

〈地方中枢拠点都市のイメージ〉



(資料)総務省資料などを基に三重県総研作成

活動報告

皆様との協働活動に感謝!



2013.08.17

第2回宇津木妙子カップ小学生ソフトボール大会
姫路市ソフトボール協会のイベントで



2013.08.21

文教委員会視察 久留米市の学校給食の取り組みについて
中学校給食実施に向けて給食センターを見学



2013.10.12

甲八幡神社秋の例大祭
毎年、男の血が騒ぎます



2013.11.01

姫路市立美術館特別展テーブルカット
広重展テーブルカットに文教委員長として



2013.11.07

新型消防車納車式
地域の安全安心のため新型車両導入



2014.03.25

地元の菜の花祭り
「菜の花祭り」で「まつり」を熱唱



2014.04.12

文学館たまた乱太郎ミュージアムオープニングテーブルカット
文学館オープニングで挨拶を



2014.04.27

後藤又兵衛顕彰看板竣工式典
後藤又兵衛のゆかりの地、山田町に設置



2014.05.14

藤の木公園現地視察
小学生の野外活動の様子を見学



2014.05.21

千葉県へ視察
視察の際に、高校の後輩である熊谷千葉市長と

皆様にご指導、ご鞭撻をいただきながら様々な活動に参加し、勉強させていただいております。これらの活動を通じ皆様から伝わってくる様々な声を体で感じとり、市政に活かして参りたいと決意も新たにしております!



萩原ただすけがお答えします!

よくあるご質問

質問はいつでも受け付けてます!
お気軽におたずねください!

Q うちの近くでは新しい家が非常に建てにくいです。何とかありませんか。

A 昭和46年に都市計画法という法律ができ、市街化をすすめる地域(市街化区域)と市街化を抑制する地域(市街化調整区域)に分け、街づくりにおけるそれぞれの役割を明確にしました。(市街化調整区域では、新築の家を建てるのに大きな規制があります。)当時は、高度経済成長の最中で、秩序のない開発行為が行われていましたので、それは、一定の効果があったものといえます。

しかし、現在は、当時、想定されていなかったような少子高齢化、人口減少社会となっています。特に、市街化調整区域においては、その傾向が顕著で、現在の制度のままでは、コミュニティの維持が難しくなってくる地域も出てくることも考えられます。

地域の同世代の仲間からももう少し地域に多くの若者が根ざすことができる仕組みを作ってくれないかという意見も聞いています。

この点について危機感をもつ議員も多く、勉強会を行い、当局に対して改善に向けて要望を行っているところです。また、個人的には、加古川市などを訪問し、先進事例について調査研究を行っています。

今後も皆様のご意見をお聞かせください。